

## 御前崎市内地区説明会参加者用問い合わせフォームに寄せられたご質問・ご意見と当社からの回答

※いただいた質問の中から不適切事案に関する質問に対して回答しています。

ご質問・ご意見ありがとうございました。

	ご質問・ご意見	当社からの回答
1	①(資料P5) 口頭での説明はあったが、燃料は全て原子炉から燃料プールへ移動していると明記した上で、燃料プールでの安全性について説明した方が分かりやすいのではないか。 ②(資料P8) 改造工事用地震動で評価して安全性を説明しているが、今回と改造地震動と策定の仕方が異なるなど差別化を説明した方が良いのではないか。	説明資料について、具体的な改善点をいただき、誠にありがとうございます。 いただいたご内容は真摯に受け止め、今後の説明資料や説明方法を検討していく際の参考とさせていただきます。
2	調査中の事案についてあれこれ言っても仕方が無い。調査結果を待ちます。今は、社内体制を再構築して事業に邁進してください。それが信頼確保に繋がると思料します。	今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、必要な改善策および再発防止策を講じ、その内容については改めて丁寧にご報告してまいります。調査結果を踏まえた対応を着実に進めてまいります。 また、今回の事案の原因調査だけでなく、社内の組織風土などの確認・解体的再構築を視野に全社一丸となって取り組み、その状況はしっかりと説明させていただきます。
3	事案の説明より現状の安全性を強調したこともやむを得ない。 今後への要望は、未払い問題や今回の事案について会社の内部統制が機能していなかったことの経緯、原因、改善、再発防止について丁寧な報告。これらの事案を社長や経営陣が把握していなかったことが重大。内部通報体制が未整備、未機能ならば再発リスクの懸念がある。	内部統制や経営のあり方に関するご指摘は重く受け止めております。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、必要な改善策および再発防止策を講じ、その内容については改めて丁寧にご報告してまいります。
4	①説明会の設営・説明に、今回の事案発生に大きく関わっている、本社(名古屋)の方がいらっしやなかったと思われ不信感を感じた。 ②そもそも浜岡原発の運営について、再稼働か廃炉かの方針が曖昧で余計に不信感が増した。 ③事案発生前まで行われていた御前崎市でのイベントへの開催・参加等は自粛するののか。	①説明会の体制についてご不信を招いたこととお詫び申し上げます。 ②原子力発電は、エネルギーの安定供給や脱炭素の観点から重要な電源の一つであると考えております。 一方で、現在は本事案に関する調査が行われている状況であり、再稼働について具体的なお話をできる状況にはありません。まずは調査に真摯に対応することが最優先であると考えております。 ③地域イベントへの参加については、慎重に検討してまいります。
5	昨日説明会に参加させて頂きました。浜岡原子力発電所は安全ですと説明されましたがほんとに安全なのか疑問を持ってしまった。 原子力発電所でいったん事故がおきれば 想像を絶するような事態になるのは明らか。今回の事案は安全基準を下げて出来るだけ早く再稼働をしたいと思う思惑があったのではと思わざるを得ない。 今後は人任せにせず全員が安心 安全を心がけて取り組んでもらいたい。	本事案については、現在、第三者委員会による調査が行われており、当社としても真摯に対応しております。調査を通じて原因を明らかにし、その結果を踏まえて再発防止に取り組んでまいります。
6	リタイア後故郷に戻り、貴社の地震対策など数回視察する機会がありこれなら大丈夫だろう、後は審査結果を待つだけと評価していたので今回の件は非常に残念です。 停止中の安全対策も心配していません。 私が思うに現場における対策はある種必要以上にやっている(防波壁など)が、原因となる地震そのものに対しては独りよがりの甘さがあったのではないのでしょうか?東北の例でも想定外が起こるのが自然災害。 何が起こるか分からない、だったら自分たちの論拠でなく、国の示す科学的根拠の元に正々堂々と愚直に立ち向かうしかありません。 廃炉のまま残っては困ります。貴社と市民は既に運命共同体であり、前に進むしかありません。 何とかこの難関を乗り越えて下さい。私たちは貴社の頑張りに期待するしかないのです。	いただいたご意見を真摯に受け止め、まずは第三者委員会の調査に誠実に取り組み、原因究明と再発防止に努めてまいります。
7	市民説明会でのディーゼル発電機の設置場所に関する回答で、納得できなかった点を再度質問します。 原子炉建屋とタービン建屋の接続部は大地震時にエキスパンジョイントで壊すように設計されているはずで、防波壁を越水した時に建屋内に浸水します。ディーゼル発電機の周りに水を被らない手立てをしているとのことでしたが、初めて聞きました。図や写真で公表して下さい。	津波が防波壁を越えた場合でも、原子炉建屋内への浸水を防ぐ対策をとっています。 具体的には、原子炉建屋外壁に設置された扉を強化・水密化することで建屋内に海水が浸水することを防ぎます。 さらに、非常用ディーゼル発電機等の安全上重要な機器が設置されている部屋の入口扉も水密化し、仮に原子炉建屋内に海水が浸水したとしても重要な機器を守る対策を行っています。 原子炉建屋内への浸水対策は下記当社Webサイトをご覧ください。  <a href="#">中部電力Webサイト</a>
8	難しいことは分からないが生活していく中で本当に安全なのか、建屋を視察見学しゲートを通る時も厳重警備で、展示品もパイプも爆発して破れたものも見た、悪い所も、いい所も見た。 過小評価して本当に早く国の基準が通ると思ったのか。次世代、子、孫のことが一番心配だ。	今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事業であると極めて深刻に受け止めております。 まずは第三者委員会による調査に真摯に取り組み、原因究明と再発防止を徹底してまいります。
9	どんな仕事にも責任というものがあると思います。原子力という1つ間違えば命に関わる大きな責任がある仕事だと思います。間違えたごめんでは許されない。	今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事業であると極めて深刻に受け止めております。 まずは第三者委員会による調査に真摯に取り組み、原因究明と再発防止を徹底してまいります。
10	国策で、国が認可を出した国の責任を追求するべき。再稼働に向けて期待していた分とてもショックが大きい。国が認可したことを忘れないでもらいたいし、あやまるだけなら誰でもできる。質問を説明できる窓口を御前崎市内30ヶ所くらい設置して住民の意見を聞いてほしい。一回やそこらやって、実績作らないでほしい。説明会をやりましたという事実が欲しいだけでは困る。	今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事業であると極めて深刻に受け止めております。 まずは第三者委員会による調査に真摯に取り組み、原因究明と再発防止を徹底してまいります。 今後も、第三者委員会の調査結果の節目などでの説明を検討してまいります。
11	今回の件で中電への信頼度かなり疑問視されるようになったと思うが、地元住民の一人として敵対関係になっても仕方がない。お互い嘘をつかない、重箱の隅を叩かないの関係が良いと思う。 今後地元発展すること、地元住民が生活しやすい街になる事を願っている。そのための協力をお願いしたい。	今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事業であると極めて深刻に受け止めております。 まずは第三者委員会による調査に真摯に取り組み、原因究明と再発防止を徹底してまいります。 また、浜岡原子力発電所がどのようなご協力ができるか、引き続きご相談させていただきます。